

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	農業委員会運営事業		コード	担当課係	農林振興課管理係
			04-01-01-01	担当者	柴垣桂介
事業実施期間				電話	0869-64-1831
総合計画 事業(政策)体系	大項目	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり			
	中項目	豊かな食を支えるまちづくり			
	小項目	農業			
	施策	農業組織の整備			

事業について	
目的	「優良農地の確保及びその有効利用、担い手の育成及び確保等の役割」を果たしていくために活動を推進している農業委員会の運営等に対して支援・協力等に取り組む。
対象(誰のために)	農業委員、農業者、農地を利用しようとする市民
内容	農地法等の法令に定められた許認可事務、農地の権利関係に係る調整事務、農地情報等の整備

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
農業委員会総会	12 回		
農用地利用計画作成	12 回		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	11,189	国庫補助金等	5,717	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	9,351	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	20,540	市債		合計	0	市債	

必要人員	1.19	人		人
結果指標名	農業委員会総会			
結果指標量	12			
単位	回			
対前年比	—		0.00%	
事業費	16,432,000	円		円
単当たりコスト①	1,369,333	円		円

結果指標名	農用地利用計画作成			
結果指標量	12			
単位	回			
対前年比	—		0.00%	
事業費	1,027,000	円		円
単当たりコスト②	85,583	円		円

事業の成果	耕作放棄地の面積		
成果指標名	耕作放棄地の面積	式又は説明	耕作放棄地の実態把握ができていないため、目標値の設定が曖昧である
成果指標量	17年度 1959a		
対前年比	—		0.00%
到達目標値	1900a	到達目標年度	平成20年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	制度について農業者、市民等への啓発が必要である
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
	市の関与の妥当性	
効率性の評価	コストの効率化	合併に伴いエリアが広がったので、それぞれの総合支所エリアで確認等を行うことで作業の効率化を図る
	手段の最適化	
	職場の効率化	
有効性の評価	目的達成度	耕作放棄地の実態を調査する必要がある
	成果向上の可能性	
	市民参画度	

総合評価	コメント	評価区分
	農地法等に関わる許認可事務や調整事務は随時行われているが、農地パトロールや実態調査などについては今後の課題と考えられる。	<A~E> C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	12回	結果指標量②	12回
目標値	成果指標量	1,959アール	

改善事項	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性		定期的な農地パトロールの実施		農地の実態把握と監視活動により、転用違反等の未然防止
有効性		耕作放棄地の実態調査の実施		耕作放棄の抑制

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。